

2014年

携帯サイトへGo!→
携帯で教室便りが見られます



公文式本市場教室 火・木 3~7時 TEL 186-61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者: 新妻ゆき子 携帯 090-2260-0671

Eメール: yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス: yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

教室だより 5月号

「しからない」にチャレンジしてみましよう

5月は、「5月病」という言葉があるように、入学や進級の変化になじめず、子どもたちがやる気をなくすることがあります。お母さんもつい、きつい言葉でしかってしまうという場面も多い時期かもしれません。

でも、「しかったら子どもは言うことをきいた」、だから言うことをきかせたい時は、また、しかった。これを何度もくり返すうちに、「しからないと、いうことをきかない」仕組みが出来上がってしまいます。しかられそうだと感じたことは隠す。嘘をついたり、ごまかしたりする。そういう行動パターンが定着してしまうと、まったく逆効果ですね。では、しからずに、子どもが望ましい行動をとるようにするにはどうすればいいのでしょうか? ポイントは、言葉で言い聞かせるだけでなく、行動で学ばせるということではないかと思えます。例えば、電車に乗る前に「電車では静かにしようね」と話しておいて、「静かにできない時は途中で降りるよ」と言い聞かせます。そして、もしうるさくしたら、有無を言わず電車から降りるのです。ニッコリ笑って、「うるさくしたから降りるよ」と宣言すればいいのです。そしてホームでもう一度確認します。「今度は、静かにできるかな?」と。ちゃんとできたら、約束を守れたことを大いにほめてあげましょう。

「ニッコリ笑って、パッサリ実行」いかがでしょうか?

公文式の創始者・公文 公(くもん とおる)先生の言葉より

“「個人別・能力別」の学習法だから意欲が生まれる”

子どもの能力は、それまでの環境、素養、練習量などの差によって一人ひとり違います。年齢が同じというだけで学習内容を統一すれば、ある子にとっては難しすぎて自信を失わせたり、他の子にとっては簡単すぎて退屈だったり、というようなことがどうしても起こってきます。例えば水泳やピアノなどの技能・技術を習得しようとする場合のことを考えてみましょう。まだバタ足が上手にできない子どもに、いきなりクロールを教えることはできませんし、クロールをマスターした子が必要以上にバタ足の基礎練習だけを強いられれば、やる気を失いかねません。

公文式は「読み、書き、計算」というすべての学びの基盤となる知識・技能を、それぞれの能力と習得スピードに合わせて学習する勉強法です。子どもが意欲的に学習に取り組み、その可能性を精一杯伸ばすためには、一斉授業方式ではなく、学習者一人ひとりの立場に立った「個人別・能力別」の学習でなければならないのです。

2014年 5月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 ※祝祭日
4 みどりの日	5 こどもの日	6 ※祝祭日	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

本市場教室日□ 横割教室日△

今月のことわざ

危機一髪

もう少しであぶないめにあうということ。

◆髪の毛一本ほどのわずかな差までに、危険がせまること。
「危機一発」と書かないこと。

字犬が、危機一髪で車にぶつかることだった。

「出かける準備にまどったので、電車に危機一髪のり
おくれるところだった。」

くもん出版刊「四字熟語カード」より

*ゆき子の一言コラム

国語力、大丈夫ですか？

全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）小学校国語Aについて、静岡県が平均正答率全国最下位の結果だったと、新聞等で大きく報道されました。国語力をつけるノウハウが公文式国語教材にはあります。

前回の2月の教室だよりでは、『国語力はすべての学習の基礎』であることをお伝えしました。

今回は、皆さんに音読力について考えていただければと思います。

以下の文章はくもんの小学校1年生相当のプリントの一部です。

ものには、なまえが あります。その なまえを あらわす ことばが「なまえことば」です。

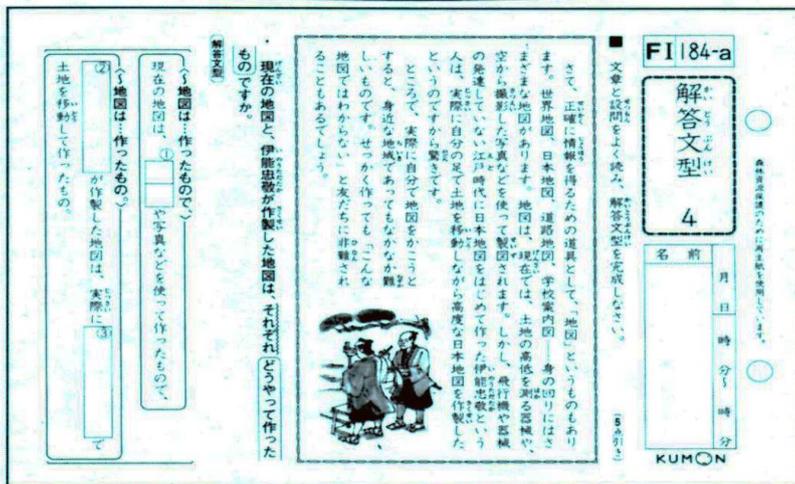
ただし おう だま
 「正 くん」も 「王さま」も 「ビー玉」も 「なまえことば」です。「えんそく」や 「べんきょう」ということばも 「なまえことば」です。ことばには、「なまえことば」の ほかに 「うごきことば」が あります。「はしる」や「はえる」などが 「うごきことば」です。「とぶ」「ころがる」「よむ」「かく」なども「うごきことば」です。

いかがでしょうか？これくらいの文章を小学1年生が1分以内でスラスラ読めたらひとまず安心でしょう。

「読む」という作業と「国語力」は、大いに相関があります。さらに、理科・社会とも少なからず関係があるので小学校6年生相当のプリントです
 高学年の生徒さんはぜひ、学校の教科書、国語・理科・社会なんでもいいので、既に学校で習ったところの教科書を開いて、声に出して読んでみてください。スラスラ読めても実際に内容理解が伴っていないケースもありますが、

◆ 時々つまったり、読めない字がある
 ◆ 内容が伝わるような読み方ではない
 ということがある場合は、注意が必要です。中には学校の先生の話も理解できず、授業の内容が分からないという恐れもあります。スラスラ読めないものはなかなか覚えられません。それが理科や社会の成績に直結している方も多いのではないのでしょうか？

小学校6年生相当のプリントです



テレビ番組の影響

テレビ番組が子どもに与える影響は非常に大きいものがあります。当然のことながら、視聴率ばかりを気にする低俗番組も数多くありますが、子ども向け番組だからといって、必ずしもよい番組であるとは限りません。制作者には申し訳ないのですが、子ども向け番組にも良し悪しがあります。ですから、子どもに見せる前に、それを親や大人は判断しなければならぬのです。人気のアニメ番組だからといって、必ずしも「良い」とは限りません。例えば、主人公の言葉遣いが悪かったり、いじめや、嫌がらせを喜ぶ性格であったり、というそうした番組もあります。ですが、子どもは当然そうした主人公と自分を同一視しますので、いつしか同じような言葉遣いや性格が身につけてしまうのです。ですから、子どもにテレビを見せる際には、「この番組を見せても良いかどうか…」ということを親や大人が判断しなくてはならないのです。子どもが勉強できるようになるためには、相応の環境が必要です。その一つがテレビ環境です。家庭がいつでも見る見ないに関わりなくテレビがつきっぱなしのなかで、勉強するのは大変困難なことです。子どもは、いろいろものに興味を持ち、集中力をそがれますので、テレビで番組が流れている中での勉強は困難です。一方、先ほど述べたように、番組が子どもに与える影響も大きいのですから、良い番組を見せることで、子どもをうまく導くこともできるはずですが、皆様方も、一度子ども向け番組を、そうした視点チェックしてみたいかがでしょうか。以下にいくつかのチェック項目を述べますので参考にしてください。

- ・正しい言葉遣いをしているか。・過度な暴力、攻撃性はないか。
- ・いじめや、極度の陰湿性はないか。・発展的に、前向きなものごとを考えられるように導いているか。
- ・新たな知識を習得するなかで、喜びを感じるようになっていくか。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

5月分の会費引き落としは4月28日（月）です。よろしくお願ひいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。